

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期
【授業の目的・ねらい】 測定検査方法を学ぶ 身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ								
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘等にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事。								
【授業全体の内容の概要】 作業療法における測定検査方法を実践する 疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）							
2	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）							
3	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）							
4	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）							
5	脳血管障害・頭部外傷の評価（高次脳機能障害の評価を省く）							
6	脊髄損傷の評価							
7	脊髄損傷の評価							
8	脊髄損傷の評価							
9	脊髄損傷の評価							
10	上肢の末梢神経損傷の評価							
11	上肢の末梢神経損傷の評価							
12	上肢の末梢神経損傷の評価							
13	関節リウマチおよびその類縁疾患の評価							
14	関節リウマチおよびその類縁疾患の評価							
15	まとめ							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学3版 能登真一 医学書院								
【準備学習・時間外学習】 当日授業の振り返りのため資料や教科書を確認する								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テストを50点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。								